



写真は10尺デッキ・フルジャストロー・2.0トン積。"S パッケージ"装着車。ボディカラーはホワイト<058>。 車種番号 1 ■写真は合成です。

トラックづくりのすべてにわたって、環境への配慮を徹底。

トヨタがめざす「トータルクリーン」

トヨタは「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携。さまざまな環境目標をバランスを取りながら達成することで、総合的に環境性能の向上を図り、クリーンなクルマづくりをめざします。

地球温暖化対策の実施

- 温室効果ガスであるCO₂排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載。また、ハイブリッドシステムの採用などにより、優れた低燃費を達成しています。
- エアコンの冷媒充填量を低減しています。

環境負荷物質の削減

鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界目標を達成しています。

VOC※¹の低減を推進しています。

内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物(VOC)の発生量を抑制。車室内の臭いや刺激臭を軽減するとともに、厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」を下回るレベルとし、業界自主目標を達成しています。

LCA(ライフサイクルアセスメント)※²の実施

走行段階だけでなく、トラックの生産・使用から最終的に廃棄するまでの全ライフサイクルで、環境への負荷を把握するのがLCA(ライフサイクルアセスメント)。トヨタでは、その観点から、排出するCO₂やその他の大気汚染物質の総量を従来型車に比べて低減しています。

都市環境のクリーン化に配慮

ディーゼル車は新高性能触媒DPR・DPR-IIなどの採用により、排出ガスのクリーン化を推進。その結果、「平成22年(ポスト新長期)排出ガス規制」「平成28年(ポスト・ポスト新長期)排出ガス規制」に適合しています。

リサイクル性の向上へ

インストルメントパネルやメータークラスター、グローブボックスドアなど内装部品にリサイクル性に優れた樹脂TSOP※⁴を使用しています。



※1. VOC: Volatile Organic Compounds
※2. LCA: Life Cycle Assessment. 資源採取～廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。
※3. Eco-VAS[エコバス]: Eco-Vehicle Assessment System。車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。 ※4. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer

トヨタ ダイナ環境仕様

車両仕様	車両			ディーゼル車							
				DPR搭載車							
	エンジン	型 式		N04C-UN			N04C-UP				
		総排気量 (L)		4.009							
駆動装置	使用燃料		軽 油								
	駆動方式		2WD		4WD		2WD		4WD		
変速機	変速機		5MT		6AT		5MT		5MT		
CO ₂ 排出量 (g/km)	車両総重量 (g/km)	3.5トン超7.5トン以下	最大積重量		1.5トン超2.0トン以下		249		235		
			2.0トン超3.0トン以下		269		254		—		
排出ガス	適合規制		平成22年(ポスト新長期) 排出ガス規制[規制値に対しNOx▲10%かつPM▲10%]								
	JE05モード		NOx		0.63						
認定レベル g/kWh	NMHC		0.17								
	P M		0.009								
車外騒音(加速／定常／近接) (dB)			79(4WDは80)／76／95								
冷媒の種類 HFC-134a/使用量 (g)			400			550			550(サブコンデンサー付650)		
環境負荷物質削減	鉛		自工会2006年自主目標達成(1996年時点の1/10以下※5)								
	水 銀		自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止※6)								
	カドミウム		自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)								
	六価クロム		自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)								
車室内VOC			自工会自主目標達成								
リサイクル関係	リサイクルし易い材料(TSOP)を使用した部品		インストルメントパネル、メータークラスター、グローブボックスドア、フロアコンソール、クォータートリムボードなど								
	樹脂、ゴム部品への材料表示		あり								

※5.1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 ※6.交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。

■ワイドキャブ環境仕様

車 両 仕 様	車 両		ディーゼル車	
			DPRⅡ搭載車	
	エンジン	型 式	N04C-VU	
		総排気量 (L)	4.009	
	駆動装置	使用燃料	軽 油	
駆動方式		2WD		
環 境 情 報	変速機		6MT	
	CO ₂ 排出量 (g/km)		354	
	排出ガス	適合規制		平成28年(ポスト・ポスト新長期)排出ガス規制※1
		JE05モード 認定レベル g/kWh	NOx	0.4
			NMHC	0.17
			P M	0.010
	車外騒音(加速／定常／近接) (dB)		77／－/85	
	冷媒の種類 HFC-134a/使用量 (g)		400	
	環境負荷 物質削減	鉛		自工会2006年自主目標達成(1996年時点の1/10以下※2)
		水 銀		自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止※3)
		カドミウム		自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)
六価クロム		自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)		
車室内VOC		自工会自主目標達成		
リサイクル 関係	リサイクルし易い 材料(TSOP)を使用した部品		インストルメントパネル、メータークラスター、 グローブボックスドア、フロアコンソール、 クォーターリムボード など	
	樹脂、ゴム部品への材料表示		あり	

※1.WHDCモード ※2.1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 ※3.交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。